

あやちゃんと にゃんぷる

あやちゃんと ねこの にゃんぷるは とつても なかよし。ほいくえんるときから
ずっと いっしょ。ずっとなかよしです。

ふつうの おんなのこと ねこに みえますが じつは、にゃんぷるにはひみつが
あるのです。あやちゃんにこまったことが あると こつそり にゃんぷるが

ねこの まほうで たすけて くれるのです。

あるひ。

「あや！ねるまえに おもちやを かたづけなさい！」と おかあさん。

「ええっ！こんなに ひろげちゃったよ…。」と あやちゃん。

「にゃーん ぷるぷるっ！」と にゃんぷる。

すると あらふしぎ、にゃんぷるの ねこまほうで

あっと いうまに おもちやが かたづきました。

またべつの あるひ。

「わーん。ともくんの たんじょうかいに おくれるよう。」





と、あやちゃん。

「おねえちゃんが いつまでも のんびり してるからだよ。」
とおとうとの けんちゃん。

「にゃーん ぷるぷるっ！」と、にゃんぷる。

すると あらふしぎ。にゃんぷるの ねこまほうで

あやちゃんの からだが そらに ういて

ともくんの いえに びゅーんと とんで いきました。

またべつの あるひの たいいくの じかん。

「しまった！ たいいくぎを わすれてきたあ…。」

と、あやちゃん。

どこかで「にゃーん ぷるぷるっ！」と きこえた き

が します。

ぼんっ！

あやちゃんの どうぐばこから、たいいくぎが

でて きました。

こんな ちようしですから、あやちゃんは ぜんぜん こまりません。



しょうがつこうに　にゆうがくして　はじめは　きんちようしたけど
いざというときは　にゃんぷるが　たすけて　くれるのです。

あやちゃんは、じぶんの　ことなんて　なにも　しなくても　へっちゃらです。
はじめての　なつやすみも　とつても　たのしかった！

やまへ　いったり　うみへ　いったり…。

そして、たいへんな　ことは　ぜんぶ　にゃんぷるが　ねこまほうで
なんとか　してくれまますから。

そして　はじめた　にがつき。

あれ、ちよつと　へんだよ。あやちゃんは　ひさしぶりに　こまりました。

クラスの　ともだちがりっぱに　みえるのです。

みんなは　どんどん　じぶんのことを　しています。つぎに　やることを
かんがえて　います。

なつやすみに、ずっと　にゃんぷるに　あまえていた　あやちゃんは
どうすれば　よいのか　わからないのです。

あやちゃんは　いえに　かえるまで　ずーっと　ずーっと　かんがえて
いました。ばんごはんのときも　おふろでも　はを　みがくときも

かんがえてやっど きめました。

ねるまえ にゃんぷるを だきながら そつと いいます。

「にゃんぷる。いままで たすけてくれて ありがとう。でも、これからは、

たすけてくれなくても いいよ。」

「にゃーん。ぷるっ。」

にゃんぷるが わらったような きがしました。

そのあとの あるひ。

「わああーん。がつこうに おくれるよう！」

と、あやちゃん。

「あや！くるまに きを つけるのよ！」と、おかあさん。

「おねえちゃん、いってらっしゃい！」と、けんちゃん。

あやちゃんは おおいそぎで がつこうに いきます。でも、がつこうの

じゅんびは ちゃんと じぶんで しましたよ。

あやちゃんは ちよつぴり おねえさんになつた きがしました。にゃんぷるは

やねの うえで きもちよさそうに ひなたぼっこをしています。(野村 宏行 作)



あやちゃんのにゃんぷる

(低学年 1-(1))

(1) ねらい

身の回りのことや自分のことは自分でやるなど、自立的な生活の良さを感じ、進んで明るく生活しようとする心情を育てる。

(2) 資料の特質

小学校一年生のあやちゃんは、にゃんぷるという不思議なネコと住んでいる。あやちゃんのこと、何でもにゃんぷるがネコ魔法で解決してくれるのだ。そんなある日、自分のことは自分でやる友達を見て、あやちゃんは自分を変えようとしていく。

保護者の過保護ではなく、魔法のネコへの甘えを題材をしているので、児童は素直に自分のありようや考えを主人公へ投影していけるだろう。物語を楽しみながら、話し合うことを大切にしたい。

(3) 展開例

- 1 自分の好きなこと、やりたくないことを話し合う。
- 2 資料「あやちゃんのにゃんぷる」を読んで話し合う。
 - ①にゃんぷるが助けてくれるとき、あやちゃんはどう思ったか。
 - ・やりたくないから、やらなくていいや。
 - ②あやちゃんは、どんな思いを込めて「もういいよ。」と言ったのか。
 - ・自分でやらないとだめになる。
 - ・一年生だから、自分でしっかりしなきゃ。
 - ③にゃんぷるは、あやちゃんに何と声をかけるか。
 - ・あやちゃんがしっかりしてくれて、うれしいよ。
- 3 自分のことを自分でがんばっていることを話し合う。
- 4 教師の説話を聞く。

(4) 指導上の留意点及び工夫

にゃんぷるに依存して、自分のことを自分でできなくなっているあやちゃんを責めるのではなく、そういった心の弱さに共感できるようにする。また、楽しい物語を生かすために、ネコのパペットを用意し、劇化して資料提示する等、一年生の発達の段階に合わせた授業を構成していくと、一層効果的である。

〔本文イラストは酒井桃華による〕